

会議研修報告用紙

事業所 松山ハロー薬局

氏名 _____

会議・研修名	第46回 中国四国支部学術大会		
期間	2007年11月10日～11日	場所	高知文化プラザ「かるぽーと」
1) 会議・研修の目的と概要			
<p>本学術大会は薬物の探索および創薬への理論構築と技術開発から、医薬品の適正使用を目的としたトラン スレーションリサーチまで、一貫した研究を対象としたものです。今回より社団法人日本薬剤師会が共催と して加わった新しいスタイルの学術大会を開催することになりました。教育機関・開局関係者・病院関係者 薬学関連企業が共通の場で議論することにより、薬学・医療分野における維新の大会となることを願ってい ます。(開催に向けて 実行委員長挨拶より)</p> <p>他薬局、他医療機関、他施設の発表を聞き自らの日々の業務を振り返り、薬局にいかせることや、この先 やっていくことなどを考え、学んで来る。</p>			
2) 会議・研修の様子と感想			
<p>大学関係者も多数参加し、学術的な演題が多く、臨床の研究発表は分科会も限られていました。10日は 9時30分からの分科会で始まり症例の違いによる一包化方法の検討、電子薬歴システムの導入と現状、地 域医療への薬局の参加、インスリン製剤の情報提供などの演題を聞きランチョンセミナーに参加、午後は後 発品、リスクマネジメント、調剤過誤、疑義照会の演題を聞き、特別講演「スペシャリストかプロフェッ ショナルか -21世紀の薬剤師は?-」高知大学学長の相良先生の講演を聞きました。</p> <p>午前の演題で患者様個別の丁寧な対応・情報提供が改めて必要だと感じました、午後の演題は分析結果の 発表が多かった、医療安全の分野では、やはり処方せんのチェック、思い込みをなくすことが大事だとい うことであった、5剤をこえるものに対してミスが多いので注意するというデータもあった、中にはスタッ フのパーソナリティーをチェックして個人ごとに起こしやすいミスを分析しているという報告もあった。特別 講演では、エキスパート(専門性)だけでなく豊かな感性も備えた薬剤師(プロフェッショナル)になるこ とが大切だという話だった、人間的感覚を身に付けた患者様をみれる「深く考える」薬剤師になっていき たいと思いました。</p> <p>11日は保険薬局の抗がん剤の服薬指導に関してやクレーム事例にみられる薬局、薬剤師の対応や小児へ の効率的な服薬指導、聴覚障害者の服薬指導の演題を聞いた、シンポジウムでは健康食品の話聞いた。 保険薬局での抗がん剤の指導では、情報提供が十分なされていないことが多く薬効の説明に苦慮している薬剤 師が多数いることが分かった、病院との連携、情報提供の重要さが改めて分かった。クレーム事例ではピッ クリするような薬局の対応が紹介された、まず謝罪と謙虚な気持ちが大切だと感じた。聴覚障害者への対応 はやはり筆談ということだったが、理解度の低い患者様へ確認テストを実施していくという話もあった、病 院ならではの部分もあると感じたがおもしろい取り組みだった、シンポジウムは体によいとされているもの でもやはり、患者様ごとに体質も違うので逆に症状が悪化した例も報告された、エビデンスに基づいた情報 提供が重要であると感じた。</p>			
3) 事業所の活動への提案・意見			
<p>患者様への病識の指導や治療の意義を理解してもらうため、パンフレットの活用や5剤以上で間違いが多 いので、なんらかの確認システムを導入してはどうかと思う。</p>			

会議・研修ご苦労さまでした。この報告用紙は、会議・研修
終了後一週間以内に必ず 管理部まで提出してください。

事務長	管理薬剤師	代表取締役